

| | | | |
|------|-----------------------------------------------------------|-----|--------|
| 会議名 | 第8回地域計画分科会 | | 公開 |
| 日時 | 令和2年1月11日(土) 午前10時00分～午前11時30分 | 場所 | J Aプラザ |
| 出席者 | (委員) 伊田雅美、小林勝則、加藤久美子、井上こずえ、滝川多嘉子 | | |
| | (事務局) 企画部：三浦部長 自治振興課：加藤課長、川合主任 自治振興事務所：松井所長、森下主事 | | |
| 欠席者 | (委員) 夏目祐輔、山本いずみ | 傍聴者 | 14名 |
| 配布資料 | 次第 | | |

議題・議事・発言等（要点記録）

1 開会

分科会長が挨拶を行い、本日の分科会成立の報告及び会議録署名人の指名を行った。
また、本日の分科会は八名地区の各行政区長や地域住民などが傍聴者として参加しており、活発な意見交換を行うため、傍聴者の制限なし、傍聴者の発言も認めることを協議会会長へ確認し、承認を得た。

2 茶話会

平成31年3月に開催した茶話会では、Sバスのルート変更について話し合いを行っており、今回の茶話会では、交通に関する地域での困りごとを挙げていただき、行政としてできることできないことなど整理していくことが趣旨であることを説明した。

茶話会はグループワーク形式とし、各テーブルごとに話し合いを行った。

まずは、各テーブルごとに交通に関して「今、困っていること」「今後困りそうなこと」をテーマに意見を出し合った。意見は各テーブルごとに模造紙へ書き込んだ。

次に、公共交通対策室から現在市が現在行っている取組みや今後の方針について、説明を行った。

<主な内容>

- ・中宇利線の主な利用者は、小中学生である。
- ・中宇利線が八名地区各所を回るルートとなっているのは、小中学生の通学に応じて設定している。
- ・自家用有償運送は、バスやタクシー事業者が成り立たない地域において市町村やNPO法人などが移動を支える制度である。
- ・作手地域のデマンドバス運行により、高齢者の利用が増えた。
- ・八名地域については、バスが運行しており、タクシー事業者も配車してくれる地域であることから、交通空白地ではないため、現在、自家用有償運送はできない。

続いて、佐宗市議会議員よりつくでデマンドバスの現状などを話していただいた。

<主な内容>

- ・デマンドバスとなった経緯は、デマンド運行を優先実施事業に指定し、地域住民とのワークショップを行い、地域としての意見をまとめ、実施に至った。
- ・デマンドバスの利用にあたり、バス停まで歩けない高齢者やグループ予約での利用車が増えている反面、予約が手間とを感じる方もおり、利用者が急激に増えたわけではないが、便利であるという声をよく聞く。
- ・作手地域と八名地域では状況が違うことも多々あるため、それぞれの地域の状況に合った交通手段を見つけられるとよい。

その後、地域計画分科会長の進行のもと、公共交通対策室との質疑を行った。

<主な内容>

Q：八名地域ではデマンドバスはできないのか。

A：デマンドができないわけではなく、自家用有償運送でのデマンドを行うことはできない（交通空白地ではないため）。交通の手段については、いろんな方法があるため、八名地域に合う方法を見つけていきたい。

Q：八名地域に合う交通の手段ということがわかりづらく、何が八名地域に合っているのか提案してもらえるとよい。

A：八名地域の方が買い物などでどこへ行きたいか、中宇利線の利用にあたって不便に思うことなど、さまざまな意見を聞き、それを踏まえながら、八名地域に合う方法を考えていきたい。

Q：作手地域のデマンドバスについて、個人の車での実施は考えられなかったのか。また、近所の方など、個人で頼まれて送り届けることは可能か。

A：交通手段のひとつとして、「道路運送法の許可・登録を要しないもの」があり、その条件としては、対価を支払わないこと、運送にかかった実費のみの支払いであれば、実施は可能であるが、地域でのルールづくりは必要となる。

なお、事前に料金を決めてしまうと対価として捉えられてしまうこともあるため、実施していきたいとなれば公共交通対策室へご相談ください。

ここで、公共交通対策室、佐宗市議会議員からの説明を聞いた上で、再度テーブルごとに意見を出し合い、模造紙にまとめ、各グループに発表していただいた。

各グループでまとめた模造紙の内容につきましては、画像のとおり。

各グループの発表についてまとめについては、以下のとおり。

<まとめ 概要>

- ・八名地域において本当に困っている人の把握ができていないと思われる。
- ・地域協議会は地域課題などについて検討することまで。実行まではしない。地域の状況を把握するアンケートに基づいて、地域の足を考えるべきであるとなれば、他地区では地域が地域の足を考える団体を立ち上げた事例もあり、八名地域も同様に団体を立ち上げるべきではないか。
- ・地域の足を誰が考えるか、という問いについて、それぞれの行政区が地域住民へ意見を聞いたり、区役員自らも考えることがいいのではないかと、との意見あり。
- ・アンケートの雛型は各行政区統一した方がよい。
- ・地域計画分科会としては、アンケートの集計まで行ったとしても、それを深く検討することが難しい。
- ・地域計画分科会にて取りまとめたアンケートについて、行政がそのアンケートに基

づいた提案をしてもらうのはどうか。

- 行政としてもアンケートに基づいて提案をさせていただく。他地区においてもアンケートを実施する予定であり、アンケート結果に基づき、行政が分析し、提案することはできる。
- 分析した後については、潜在的なニーズとして、困っていないのか、困っているのに困っていることに気付いていないのか、声が挙がってきた際に見えてくる。それにより、地域への提案として、行政でできること、地域と行政が一体となればできることなどを提案できるのではないか。
- その行政からの提案について、八名地域では誰が受け取るのかについては、まずは地域住民への説明会を開催し、その中でどのような形がよいか考えてはどうか。
- 地域で検討するにあたっては、行政も参加し、地域とともに検討していく。
- 八名地域では、自家用旅客運送ができない。八名地域の住民の協力が得られれば、ボランティア運送ができないことではないと思われる。例えば、自治区予算で車両を調達し、それを使って実施することも考えられる。その運営を地域が行うが、自治区予算などで補助を行うことも考えられるのではないか。他自治体で取り組んでいる事例もある。
- 運送を利用する方は車の乗降も心配だと思われることについて、介護の必要な方の乗降は講習が必要ではないかと思われるが、市内には介護タクシーなどもあるため、どんな方を乗せるのか、どんなサービスがあるかを知りたい場合、行政から説明してもらうこともできる。
- 鳳来地区の状況として、山吉田地域ではバスの本数が少ない、タクシーの料金が多くかかってしまうことから、地域住民が発案し、地域活動交付金を活用して研究しながら有償運送を検討している。その検討の中で課題となるのは、実行組織であり、地域の足を考える会が主体となり、運営協議会を立ち上げ、別途運転手を募った。そうしたところ、20数名の応募があり、自家用有償運送に関わる運転手の講習を受けるなど、具体的に進んでいる状況である。
ボランティアでは継続することが困難ではないかという意見もあり、少額の収益も得られるような仕組みづくりをしていきたいとして検討している。

地域の足は、バスやタクシーだけではなく、福祉関連などさまざまなものがあるため、他の事例なども勉強しながら検討していけるとよい。

3 閉会

困っていること

- 足のない一人暮らしの老人がいる。
- 老老介護になっているので不安。
- 病院の通院も買物も近くにはない。
→パロー 三日月(遠くまで)
- タクシー券があっても料金がかわるので持ち出しが為に気軽に使えない。
- 運転できない人は時には生活に不便がある。
23区以外
- バス停までが遠いのでバスが使えない。
→墨田区内はバス停が近い
- 買物にバスを乗るバスで移動するのは大変。
- バスルートで遠回りになるので使いたくない。

困っていないこと

- 移動に困っていない → 車の運転をしているから
→ 子供と同居
- 買物をする所(Aコープ)が近くに
出かける事が少なくなった。
→ 使った運転すると登録車で集め、Aコープを
拠点にして取車するシステムができれば...
企業に働きかけて店の巡回ができれば...

困ってる

- 買物(生活必需品)
- J笑門に頼ってる(週1回)
- バスは自分の時間に合わせて
予約バス・バス停近くに
- 近所に車場のための
とくに普段から付き合はない
- 草がはえてる。(共同管理してくれればいい)
- タクシーを呼んでもすぐ来ない。

困らない

- 車に乗れる。
- 家族がいる。
- 離れた家族がたまに来る。
- タクシーがある。
①人の命を助かるボランティア
自家用車でもOK
②料金設定
・事故ほど
・介護介助

店が無い
子供が少ない
歩道が整備されていない
マニュアル車が少ない
道路が狭い
病院が遠い
高度医療が無い
高齢者移動手段に困る
運転免許の規制がきつくなる

単独の高齢者世帯が増える
IT弱者の存在
難聴
鉄道から遠い
必要な情報
(アンケートを取る)
(現状と10年後など)

困っていない ... 自由に動ける。バスだと拘束される
^{運行時間}
通勤途中で買い物(市外)で済ませるから
介護タクシーもあり
タクシー 小回りの公^通共_共輸手段があるとよい。
タクシーチケット 近所で週一回助け合いで運んでいてくれる。
1名の人だけのために利用しているか? バスで市街へ行ったとき、移動手段に困る。
タクシー業者が遠い ... 八幡発八幡着の方が効率が良いかも 中宇利線も残す
自タク ... 謝礼の部分を考えると都合が良いかも。 本数を増やす。
通学時-大型 増便-小-型